

事業者における自己評価結果(公表)

令和5年3月30日

奈良県障害者総合支援センターわかさ愛育園(ポコッチェリ)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○			
	② 職員の設置数は適切であるか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・国が定めた設置基準を満たしていますが、利用児童の人数や状況によっては手薄さを感じることがあり、看護師を含め園全体の職員で協力体制を作っています。 ・安全面を考慮し、職員数により利用人数を調整しています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・全体にはバリアフリーになっていますが、児の安全面への配慮から段や台を使用している場所があります。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の意向についてはその都度対応していますが、開所年度のため全体の評価に関しては今後業務につなげていきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・開所年度のため、今後業務につなげていきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員で共通したツールを検討しているところです。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しの中で、支援方法の見直しや児童の成長を意識しながら行えるよう工夫しています。 ・繰り返しが児童にとってマンネリにならないよう工夫しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	○			
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス	○			

		計画を作成しているか。				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず、打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		・前回利用時の子どもの様子を確認し当日の関りを職員間で共有しています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援計画の検証・改善につなげているか。	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。		○	・担当者会議が行われる際には、適任者が参加する予定です。	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○		・学校への送迎時には必ずその日の様子等を引継ぎし、事業所での様子も伝えるようにしています。 ・学校の行事等に合わせ利用時間の調整を行っています。 ・感染症などでの休校・休園などの連絡を相互に行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	○		・医師からの診断書や指示書に基づき、医療的ケアを行っています。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	・対象児はまだいませんが、保護者等から依頼があれば情報提供を行います。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。			○	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○			・担当者が参加し全体に伝達しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			・送迎時や連絡帳でのやり取りが主になっています。まだまだ完全ではないと思いますが保護者の方と共通理解していけるよう努めていきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。			○	

	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			・契約時に説明を行っています。 不明な点があればその都度説明をさせていただきます。
	③⑪	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			・悩みなどを相談しにくい方に気付き、寄り添えるように努めたいと思います。状況に合わせて関連機関との連携も視野に入れながら支援していきます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			○	・保護者会はありませんが同じ悩みや不安を持つ保護者同士のつながりを作る支援をしていきたいと思っています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			・相談等の申し入れ方法が整備されていないので、保護者にいつでも気軽に相談していただけるよう努めます。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。			○	・開所1年目を終えるにあたり、どのような形がいいのかを検討しているところです。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか。	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			・連絡帳や電話、メール等手段を変えて行っています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。			○	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか。	○			単独通園のため保護者への周知不足と思われるので、訓練の様子や非常時の対応等保護者にも知らせていきます。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	○			
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	④④	ヒアリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。